

序 文

今年も恒例の研究活動一覧が第17輯と云うことで発行されることになりました。例年のことで特に申し上げることもないが、前年度からジャーナルの impact factor が巻末に掲載されたこと、原稿に floppy disk を活用されたことがあげられ、先生方の自己点検や客観的評価にもなることと存じます。毎年中味が向上しているように見受けられ大変よろしいことかと存じます。

私は業績集による研究内容の紹介も大切であります但同时に他大学の一部で行われているような、研究業績ばかりでなく、具体的な授業教育内容等も、対外的に公表することも必要ではないかと考えます。そう云った意味では、大学学部の紹介のやや詳細な冊子をも将来作ったら如何なものかと思えます。これから医学、薬学、そして看護学も、チーム医療の中での協力が是非必要になってまいります。そんな意味でも学外者にも分かりやすい参考書が出来ないものであろうか。

私もこれを最後に学園を去ることになります。皆さんの益々の御健勝をお祈りします。

学 長 山 崎 高 應